

アートで再生する町から 南島の自然を回る

 **ニュージーランド**
New Zealand

クライストチャーチ／レイク・テカポ／
ミルフォード・サウンド

震災の記憶も新しいクライストチャーチから、
南島の絶景を回る旅へ出よう。
海に、山に、星空……、バリエーション豊富な
大自然の魅力を、思う存分体感しよう!



1
写真・文：グルーボ・ピコ（地球の歩き方ニュージーランド編担当）



2
1 カラフルなステンドグラスが正面を覆うカードボード・カセドラル 2 クライストチャーチ〜テカポ間の道は、風光明媚なシーニックルートとして有名 3 南島最大の見どころであるミルフォード・サウンド (©Real Journeys)



3

復興の町を彩る現代アート

2011年2月に発生したカンタベリー地震により、甚大な被害を被ったクライストチャーチの町。震災から4年が経過した現在も町は復興の最中で、そこかしこで再開発工事が行われている。“復興途中の町”と聞くと、灰色の工事現場が続く殺風景な町並みを連想しがちだが、クライストチャーチではだいたい事情が違うようだ。町なかを歩いてまず目につくのは工事現場ではなく、国内外のアーティストたちが手がけたパブリックアート。震災のあとを覆い隠し、壁を彩るグラフィックアートやモニュメントが点在する町は、まるで巨大な現代アートの美術館のよう。これらのアートを回るには、2013年に復旧したトラムを利用するのが便利。カセドラル・スクエアをはじめとする中心部を回ったら、倒壊した大聖堂の仮設として建てられたカードボード・カセドラルへ。日本人の建築家・坂 茂氏が設計を手がけたこの大聖堂は、建築資材が紙というユニークな建築物。これらは復興プロジェクトの一環として制作されたもので、あくまでも一時的に設置されているものなのだが、クライストチャーチの新たな観光資源ともなっている。南島最大の観光都市は、美しく喜びにあふれた本来の姿を取り戻しつつある。



4 かつて大聖堂が建ち、町の中心だったカセドラル・スクエアにある、聖杯をモチーフにしたモニュメント 5 64もの小さな旗が翻るフラッグ・ウォール 6 壁に描かれたグラフィックアートはどれもリアルで迫力満点! 7 復旧したトラムは、クライストチャーチの名物である 8 トラムのチケットは運転手から直接購入する



9 山の上にあるマウント・ジョン天文台と、満天の星空。(©Maki Yanagimachi)
10 善き羊飼いの教会のそばに立つ牧羊犬の像 11 氷河から流れ込んだ水をたたえるテカポ湖畔にある善き羊飼いの教会。結婚式も挙げられる



“星空世界遺産”の実力を見よ!

クライストチャーチの西約230kmにあるレイク・テカポは、美しいコバルトブルーのテカポ湖畔に拓けた村。人口400人弱の小さな村を世界的に有名にしているのが、“世界一”と称される星空だ。テカポではその星空を世界遺産に登録しようという運動が行われており、2012年6月にはレイク・テカポの村を含む4300km²のエリアが、世界初のダークスカイ・リザーブ(星空保護区)に認定された。レイク・テカポの村の中からでも十分に美しい星空を見ることができるが、せっかくなら最高の条件で星空を望むことができるツアーに参加してみるといい。旅行会社のアース&スカイ(URL:www.earthandskynz.com)では、湖畔にあるマウント・ジョン天文台を訪れてのスターウォッチング・ツアーを催行している。暗闇のなか、上空へと顔を向ける。180度の視界いっぱい広がるのは、夜空を覆い尽くす満天の星……。じっと眺めていると、まるで宇宙が降ってくるみたいな、そんな錯覚に襲われてしまう。ベストシーズンは、空気が澄み渡る6~8月の冬期。旅行会社のH.I.S.が行ったアンケートで、「プロポーズされたい場所」No.1にも輝いたレイク・テカポで、とびきりロマンティックな体験を。



12 船と見比べてみれば、山の大きさは一目瞭然だ (©Real Journeys)
 13 雨の日にはより水量が多く迫力満点の滝が現れる

これがニュージーランド絶景の大本命!

旅の最終目的地は、南島最大の見どころであるミルフォード・サウンド。世界遺産でもあるフィヨルドランド国立公園内にある14のフィヨルドのひとつで、タズマン海から内陸へ15kmに亘って切れ込んでいる。ニュージーランドを代表する絶景として知られており、海面から1200mを超える山々が屹立する景観は、息を飲むほどの美しさ。ミルフォード・サウンドのハイライトは、フィヨルドを航行するクルーズ。

1 クライストチャーチ Christchurch

ワンポイントアドバイス
 南島最大の町で、グルメや買い物も楽しめる。治安は良好だが、スリやひったくりには注意。

周囲に緑豊かな庭園が広がる“ガーデンシティ”としても知られている。

クライストチャーチのユースホステル

- YHA Christchurch
 ADDRESS: 36 Hereford St., Christchurch
 TEL: +64-3-379-9536
 URL: <https://www.hihostels.com/hostels/yha-christchurch>
- YHA Christchurch Rolleston House
 ADDRESS: 5 Worcester St., Christchurch
 TEL: +64-3-366-6564
 URL: <https://www.hihostels.com/hostels/yha-christchurch-rolleston-house/>

2 レイク・テカポ Lake Tekapo

ワンポイントアドバイス
 30分もあれば歩いてしまうほど小さな町。犯罪に巻き込まれる心配はほとんどない。

湖畔にたたずむマウント・ジョン天文台は、小さな村のシンボリックな存在。

レイク・テカポのユースホステル

- YHA Lake Tekapo
 ADDRESS: 3 Simpson Lane, Lake Tekapo
 TEL: +64-3-680-6857 FAX: +64-3-680-6664
 URL: <https://www.hihostels.com/hostels/yha-lake-tekapo/>

3 テ・アナウ Te Anau

ワンポイントアドバイス
 フィヨルドランド観光の拠点。町は小さく、徒歩で充分歩き回れる広さで、治安も良好。

面積342km²を誇る、南島最大の湖であるテ・アナウ湖畔に拓けた町。

テ・アナウのユースホステル

- YHA Te Anau
 ADDRESS: 29 Mokonui St., Te Anau
 TEL: +64-3-249-7847 FAX: +64-3-249-7823
 URL: <https://www.hihostels.com/hostels/yha-te-anau/>

リアル・ジャーニーズ(URL:www.realjourneys.co.nz)をはじめいくつかのクルーズ会社がある。海面を進むクルーズ船の両脇には切り立つ崖が終始寄り添い、岸壁には落差100mを超える滝が連続する。次から次へと移りゆく景色に、カメラのシャッターを押す手が止まらず、2時間あまりのクルーズはあっという間に過ぎてゆくに違いない。

ミルフォード・サウンドの拠点、テ・アナウという町。ここからミルフォード・サウンドまではミルフォード・トラックという全長53.5kmのトレイルが延びている。3泊4日で歩くのが普通だが、途中まで行って引き返す日帰りツアーも人気。苔むした原生林に覆われた林道は、いたるところが神秘的な美しさ。絶景旅を締めくくるにふさわしい思い出となるはずだ。



14 ファンタジー系の映画や物語に登場しそうな風景が続くミルフォード・トラック
15 ミルフォード・トラックで見かけたニュージーランド・ロビン
16 ハイキング中には花や動物の姿を見かけることも

旅のヒント in ニュージーランド

- 時差：日本より3時間早い(サマータイム時は4時間)。
- ビザ：3ヵ月以内の滞在なら不要。
- 通貨：ニュージーランド・ドル(2015年5月20日現在\$1=88.79円)
- 物価：宿泊費や外食費など、日本とほぼ同じ。
- 気候：南半球のため、南に行くほど寒くなる。特に南島は1日の寒暖差が激しい。季節は日本と真逆だが、年間の気温差は8~9℃ほどと大きくはない。
- ベストシーズン：3ヵ所とも通年観光できるが、夏にあたる11~3月がベスト。

7泊8日モデルルート

- DAY 01 日本→クライストチャーチ
- DAY 02 クライストチャーチ
- DAY 03 クライストチャーチ→レイク・テカポ
- DAY 04 レイク・テカポ→テ・アナウ
- DAY 05 テ・アナウ→ミルフォード・サウンド
- DAY 06 テ・アナウ→クライストチャーチ
- DAY 07 クライストチャーチ→日本
- DAY 08 日本着



詳細は・・・
地球の歩き方ニュージーランド編へ



ニュージーランドのおもしろユースホステル

世界唯一!? 海を自走する船のユースホステル

ニュージーランドの北島、パイヒアという町に、ハウスボートを利用したユースホステルがある。宿はチェックイン時間が過ぎると、なんと一晩のクルーズへと出航する。クルーズ中にはカヌーやフィッシングも楽しみ、アクティブ派にはうってつけのユースホステルだといえる。



●YHA Bay of Islands The Rock Cruise

ADDRESS: The Rock, Paihia Wharf Building, Paihia

TEL: +64-9-402-7796

FAX: +64-9-402-7730

URL: <https://www.hihostels.com/hostels/yha-bay-of-islands-the-rock-cruise/>